# 使用説明書

# PENTAX MZ-10 BUARTZ DATE



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。MZ 10は、人物が中央にいなくても中抜けをしにくいワイドAFフレームの3点脚距、写す物の条件によりカメラが最適なピクチャーモード、ストセドを自動的に選択するオートピクチャーモード、ストロボを上げたままでも必要なときだけストロボを発光され、型軽量のオートフォーカス一眼レフカメラです。各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開い

て各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

#### 「林檎の秘密」 すぐに役立つ写真の基礎知識



ています。 お求めは、ベンクックスサー ビス窓口・ベンタックスファ ミリーまたは、最寄りのカ メラ店で。

露出の仕組みや光の測り方、 ピントの合わせ方など写真 の基礎を豊富なイラストと 作例でわかりやすく解説し

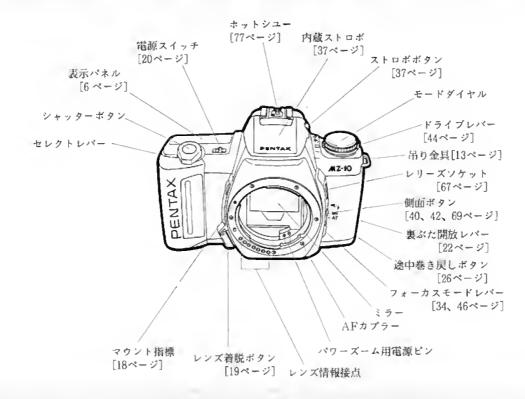
#### 記号について

操作の方法	-
自動的に動きます	<b>****</b>
注目してください	2 ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° ° °
点滅します	344
正しい	
間違い	X



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

# 各部の名称(1)



# カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容 については特に注意をしてお使いください。

# ∧ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性が あることを示すマークです。

# △ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

- は、禁止事項を表わすマークです。
- ↑ は、注意を促すためのマークです。

# △警告

- カメラを分解しないでください。カメラ内部には 高緒圧部があり、感電の危険があります。
- 答下などにより、カメラ内部が露出したときは、 絶対に露出部分に手をふれないでください。 感電の の の 危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお 子様がストラップを首に掛けないようにご注意く ださい。
- ◇ 望遠レンズを付けた状態で、長時間太陽を見ないでください。目を痛めることがあります。 特にレンズ単体では、失明の原因になりますのでご注意ください。
- ▲ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。 万一、電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご 相談ください。

## **A**注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や充電をしないでください。 破裂・発火の恐れがあります。
- ↑ 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

## 2

# 取り扱い上の注意

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温 になりますのでご注意ください。
- ・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- ・このカメラは防水カメラではありませんので、雨水 などが直接かかるところでは使用できません。
- ・強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- ・約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることも ありますが、これは液晶の性質によるもので、故障 ではありません。

- ・レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き 飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- ・マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなることがありますが、撮影した写真には影響ありません。
- 高性能を保つため、1~2 年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が 住じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、 温度差を少なくしてから取り出してください。
- ・カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- ・ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などが カメラの中に入らないようにご注意ください。 故障 の原因になります。 雨や水滴などが付いたときは、 良く拭いて乾かしてください。

# こんな写真を撮るには?

ピント関係
ピントの合う範囲を変えて写真を撮りたい60
3 ストロボ関係
暗い所で写真を撮りたい37
ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい40 自動的にストロボを発光させたり、止めたりしたい …42
自動的にストロホを完定させたり、正めたりしたい …42 結婚式など広い室内で写真を撮りたい77
逆光の人物の顔を明るく写したい81
夜景をパックに人物を撮影したい62
ズーミング関係 写したい物の大きさを大きくしたり小さくしたりしたい30
70/01/19/10/01/19/01/01/19/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/
露出[明るさ]関係
カノラ任せでなく明るさを自由に変えて写真を繰りたい 64、68 逆光の人物の顔を明るく写したい ······81

	-	
ш	-	
1		
ш	111	

# 人物撮影関係

7.
自分自身も写真に写りたい
人物撮影で人物を浮きたたせたい56
集合写真を撮りたい56
逆光の人物の顔を明るく写したい61
夜景をバックに人物を撮影したい82
風景撮影関係
風景写真を近くから遠くまできれいに撮りたい57
夜景を撮りたい
夜景をバックに人物を撮影したい82
<b>?</b> その他
写真に目付を入れたい[消したい]21
連続的にシャッターを切りたい44
縁息のダイナミニクな写真[パノラマ]が帰れたい51

花などを近くで繰りたい …………58

4

# 目 次

こんな写真を撮るには?
表示パネルの表示ガイド
ファインダー内の表示ガイド
•6分割測光について
使い方は簡単です
マウントについて10
各種レンズを組み合わせたときの機能11
説明書の構成について12
カメラの準備と基本操作13~26
ストラップを取り付けます13
電池を入れます14
• 電池が消耗した場合17
レンズを取り付けます18
シャッターボタンの操作20
電源を入れます20
写真に日付や時刻を写し込みます21
フィルムを入れます22
フィルムの巻き戻しについて25
・フィルトの冷け光子前1

基本的な使い方[撮影]	··27~42
オートピクチャーモードに合わせます	27
I コマ撮影にします	29
ズームレンズの使い方	3(
カメラの構え方	33
オートフォーカスを選びます	34
撮影します	35
内蔵ストロボの基本的な使い方	31
• 赤目軽減機能について	4(
• ストロボ自動発光モードについて	42
応用的な使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	··43~89
ドライブモードを切り替えます	43
• 連続撮影	44
<ul><li>セルフタイマー</li></ul>	44
手動によるピント合わせ	46
• スナップインフォーカス撮影について	48
パノラマ撮影	51

ビクチャーモードの使い方54
• 標準モード・・・・・・・55
・人物モード
・風景モード・・・・・・57
・近接モード
• 動体モード59
いろいろな露出モードを選びます60
• 絞り優先自動露出の使い方60
<ul><li>シャッター優先自動露出の使い方62</li></ul>
•マニュアル露出の使い方64
• バルブの使い方66
露出補正について68
電子音を消します69
内蔵ストロボについて、もっと知りたい方へ70
•F•FAレンズの内職ストロボ適合表72
DXでないフィルム使用時の感度設定方法73
日付や時刻の写し込みが薄くなったときの電池交換74
日付や時刻の修正75
外付けストロボの使い方77
• 光量比制御シンクロ撮影79

日中シンクロについて	
低速シンクロについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	82
専用アクセサリー[別売り]について	83
絞りとシャッター速度の効果	
被写界深度	
赤外線指標について	
その他について90~	
こんなときは?	9(
こんなときは? 上な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9( 92
こんなときは?	9( 92
こんなときは? 上な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9( 92 94
こんなときは? 主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9( 9) 9)

# 6

# 表示パネルの表示ガイド



M :マニュアル露出[64ページ]

: 標準モード[55ページ]

: 人物モード[56ページ]

: 風景モード[57ページ]

: 近接モード[58ページ]

: 動体モード[59ページ]

:ストロボ情報[37、39ページ]

・ 赤目軽減機能[40ページ]

\*A : ストロボ自動発光[42ページ]

ISO : フィルム感度設定[73ページ]

Tv8866:シャッター速度

: 電池消耗[17ページ]

Av 8.8 : 絞り

**Q\_\_\_** : フィルム状態[24、25ページ] **8.8** : フィルム枚数、露出補正値

[25、68ページ]

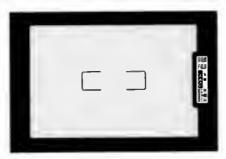
# ファインダー内の表示ガイド

Ø

K

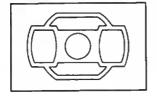
**2** 

ĒΘ



#### 6分割測光について

このカメラの分割測光では、図のように画面内を6つに分割して明るさを測っていますので、逆光などで人物が暗くなってしまうような条件でも、どの部分にどんな明るさの物があるかをカメラが判断し、人物が暗くならないように自動的に補正を行います。ですから、初心者の方でも安心して撮影を楽しんでいただけます。



: AFフレーム[35ページ]

:シャッター速度

: 絞り表示

:標準モード[55ページ]

: 人物モード[56ページ]

: 風景モード[57ページ] : 近接モード[58ページ]

:動体モード[59ページ] :ストロボ情報[37、39ページ]

: ピント情報[35ページ]

: 露出補正マーク[68ページ]

: バーグラフ[65、68ページ]

※ サービスサイズのカラープリント[パノラマプリントを含む]では、画面周辺の物がプリントされないことがあります。構図に少し余裕を持たせてください。

※ パノラマ撮影時は、ファインダーがパノラマ用に横長 になります。51ページをご覧ください。

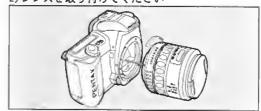
# 使い方は簡単です![とにかく撮影してみたい方のために]

# 1)電池を入れてください



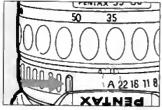
コインなどで電池ぶたを開けて、リチウム電池CR2を2本カメラの表示に合わせて入れます。[14ページ]

# 2) レンズを取り付けてください



レンズとカメラのマウント指標[赤点]を合わせてはめ込み、右に止まるまで回してロックします。[18ページ]

#### 3) 絞りを A 位置にしてください



レンズの絞りオートロックボタン を押しながら絞りを A 位置に合 わせます。[27ページ]

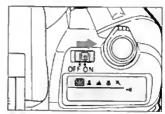
# 4) モードダイヤルを (PICT) 位置にしてください



モードダイヤルを回して(FICT) 位置に合わせます。

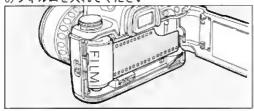
これでオートピクチャーモードになります。[28ページ]

# 5)電源を入れます



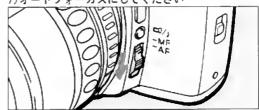
電源スイッチを右にスライドさせます。[20ページ]

# 6) フィルムを入れてください



カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、フィルム先端 を赤色のフィルム先端マークの右端に合わせて裏ぶたを 閉めます。自動的に1枚目まで進みます。[22ページ]

# 7)オートフォーカスにしてください



フォーカスモードレバーを AF に合わせます。 [34ページ]

#### 8)写すものの大きさを決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したいものを好みの大きさにしてください。[30ページ]

## 9) ピントを合わせて撮影してください





ピントを合わせたいものにAFフレーム 口 ご を合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。[35ページ]

# 0

# 各種レンズを組み合わせたときの機能

機能 レンズ [マウント名]	FAVX [Kar. Karz]	Fレンズ [Kar]	Aレンズ [K <sub>4</sub> ]	Mレンズ [K]	Sレンズ [P]
オートフォーカス(レンズ単体使用)	0	0	×	×	×
<b>(AF</b> アダプター <b>1.7</b> ×使用)		_	O注1	〇注1	×
3点测距	0	0	×	×	×
マニュアルフォーカス(FI 表示の利用)注2	Oi <b>ŧ3</b>	○注3	○注3	〇注3	×
(マット面の利用)	0	0	0	0	0
パワーズーム	○注4	×	×	×	×
イメージサイズ指定	×	×	×	×	×
ズームクリップ	×	×	×	×	×
露光間ズーム	×	×	×	×	×
ピクチャーモード	○注5	○注5	0	×	×
オートピクチャーモード	0	0	×注 <b>6</b>	×	×
絞り優先自動露出	0	0	0	0	0
シャッター侵先自動露出	○注5	○注5	0	×	×
マニュアル露出	0	0	0	0	0
プログラムTTLオートストロボ撮影	0	0	0	×	×
TTLオートストロボ撮影	0	0	0	0	0
分割測光(6分割)	0	0	0	×往7	×往7
校りA位置以外の紋り目安表示	0	0	×	×	×

注1:レンズの開放下値がF2.8および、それより明るいレンズのみ。[AFアダプターの説明書をご覧ください。]

注2:ファインダー内の合焦マーク 〇 に従って行なう手動のピント合わせ。[FI=フォーカスインジケーター。]

注3: レンズの開放F値がF5.6および、それより明るいレンズのみ。

注4: K<sub>AFE</sub> マウントレンズのみ。 注5: F・FAソフト85mmF2.8および、FAソフト28mmF2.8を除く。 注7: 中央重点測光になります。

#### マウント名称について

オートフォーカス用のレンズには、 $K_{AP}$  の 2 つのマウントがあります。 $K_{AP}$  マウントは $K_{AP}$  マウントに電源ビンを追加し、パワーズームを可能にしたマウントです。詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

#### レンス名称とマウント名称について

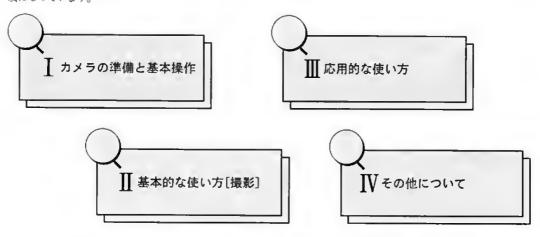
FA の単焦点レンズ(ズームでないレンズ)と F レンズのマウントはすべて  $K_{AF}$  マウントです。FA ズームレンズは、パワーズームが可能なレンズは  $K_{AF}$  マウントです。 詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

- ・A、F、FAレンズはKマウント[バヨネット式]です。
- ・A、F、FA レンズの絞りには A[オート]位置があります。
- ・旧タイプのねじ込み式レンズ[S レンズ]は、マウントアダプター K を使って取り付けられます。

# 2

# 説明書の構成について

説明書を効果的にご使用いただくために、次のような構 成になっています。



●とにかく撮影をしてみたい方は「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方[撮影]」をお読みください。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。

# カメラの準備と基本操作

# Ⅰカメラの準備と 基本操作

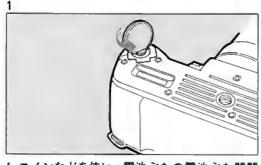
# (1)ストラップを取り付けます 13



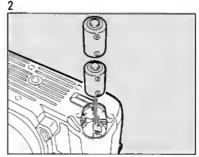
図のように、ストラップを取り付けてください。

- \* ストラップの先端は、図のように留め具の内側になる ように通すとしっかり取り付けられます。
- \* ストラップのポケットは、ファインダーキャップ、レ リーズソケットキャップ、ホットシューカバーなどの 小物入れとしてご利用ください。
- \* ストラップの留め具をカメラの近くにしすぎますと、 途中巻き戻し、日付や時刻の修正ができなくなります のでご注意ください。26ページ、75ページ、76ページを ご覧ください。

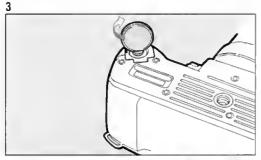
# (2)電池を入れます



1. コインなどを使い、電池ぶたの電池ぶた開閉 レバーを左に回して電池ぶたを開けます。



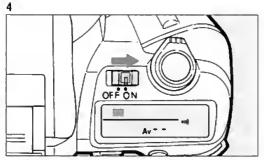
2. 電池の一側を先に電池を2個入れ てください。



3. コインなどを使い、電池ぶたの電池ぶた開閉 レバーを押し込みながら右に回して、電池ぶ たをロックします。

- \* このカメラは電池がないと動きませんので、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池 [CR2] 同等品を2個入れてください。サンプル用の電池が同梱されていますので、この電池をお使いください。
- \* 単3電池を使える、別売りの単3バッテリーバックF。 もあります。
- \* 電池を入れ直すと、ピントが合ったときの電子音は 「鳴る」に、露出補正値は「0」に、内蔵ストロボの赤目 軽減機能は「なし」に、内蔵ストロボの自動発光は「な し」に変わってしまいます。それ以外の設定は変わり ません。
- \* 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るとき は、予備電池をご用意ください。
- \* 電池を交換するときは、全部を一度に、同一メーカー・ 同一種類で行なってください。また、新しい電池と古 い電池を混ぜないでください。

16



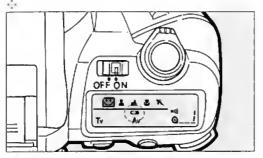
- 4. 電源スイッチを右にスライドさせ、図のよう な表示が表示パネルに出ることを確認してく ださい。
  - \* レンズが取り付けられているときは、別の表示が出る ことがあります。

摄影可能フィルム本数およびバルフ時間

一般撮影	約120本
ストロボ撮影[使用率50%]	約20本
ストロボ撮影[使用率100%]	約12本
バルブ露出時間	約8時間

新品のリチウム電池 CR2 で、当社試験条件による。[24 枚撮りフィルム、常温]

- \* 撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりますのでご注意ください。
- \* 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。 また、撮影できるフィルム本数が少なくなります。
- \* 同梱されている電池はサンプル用の電池のため、上記のフィルム本数を撮影できないことがあります。



#### →電池が消耗した場合

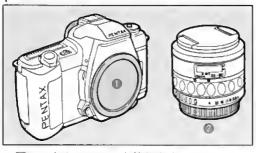
電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池消耗警告 ← か点灯します。お早めに電池交換の準備をしてください。

- \* 電池の交換は14ページをご覧ください。
- \* 電池マーク (二) が出たままでも、シャッターが切れれ ば露出に問題はありません。

- \* 表示パネルの電池消耗警告( ) が点滅になると、ファインダー内表示は消え、撮影できなくなります。
- \* 長期間カメラを使用していない場合、新品電池に交換 しても表示パネルに電池消耗警告 ← が表示されることがあります。

電源を入れ、シャッターボタンを半押ししてみてください。 の表示が消えれば、そのままお使いになれます。

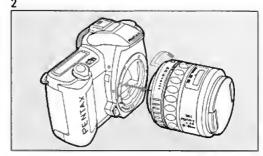
# (3)レンズを取り付けます



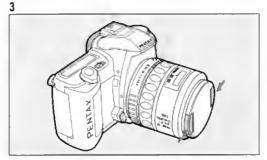
- 1. 図の 

  ●と 

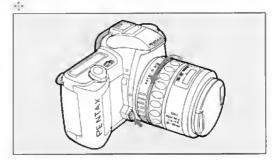
  ②のカバーを外します。
- \* ●のカバーは工場出荷時のキズやホコリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリーとして「ボディーマウントキャップK」が用意されています。



- 2. カメラとレンズの赤点のマウント指標を合わせて、レンズをカメラにはめ込み、レンズを 右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。
  - \* レンズの着脱は、不用意なレンズの動きを防ぐため、電源OFFで行なってください。



- 3. レンズキャップは、図のように矢印部分を内側に押すと外れます。
  - \* 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、 故障などにつきましては保証いたしかねます。
  - \* カメラやレンズのマウント面には、レンズ情報接点や AFカプラーがあります。この部分にゴミや汚れが付い たり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因にな る場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布 できれいに拭いてください。



中レンズを外すには

レンズを外すときは、レンズ着脱ボタンを押 したまま、レンズを左へ回してください。

\* 外したレンズは、マウント周辺を傷付けないため、カメラに取り付く面を上にして置いてください。

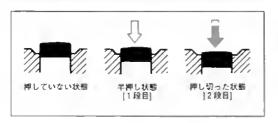
# (4)シャッターボタンの操作

シャッターボタンは 2 段階になっています。

シャッターボタンを半押しすると[1段目まで押す]、ファインダー内の表示が表示され、オートフォーカスが働きます。

さらにシャッターボタンを押し切る[2段目まで押す]と、シャッターが切れ撮影できます。

- \* シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、指 の腹でゆっくり押してください。
- \* フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押 してみて、どこまで押すと半押しになるのか、感覚を つかんでください。
- \* ファインダー内表示は、シャッターボタンを半押ししてから約10秒間は、指を離しても表示されたままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、表示は継続します。



# (5)電源を入れます





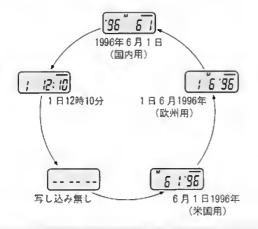
- 1. 電源スイッチを右にスライドすると電源が入ります。[電源ON]
- 2. 電源スイッチを左にスライドすると電源が OFFになります。
  - \* 使わないときは、必ずOFFにしてください。シャッター ボタンが押されると電池が消耗します。

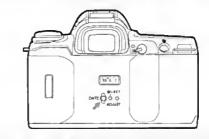
# (6)写真に日付や時刻を写し込みます(データバックを使います) 2

図のように、矢印の DATE ポタンを押して、 写し込みたい内容を選びます。

表示は図のように DATE ボタンを押すごとに 変わり、表示されている日付または時刻が写真 に写し込まれます。

- \* M は「月」の位置を表わしています。
- はシャッターを切ると点滅をして、目付や時刻が 写し込まれたことを知らせます。





- \* 日付や時刻は、撮影のたびに写し込まれます。
- \* -- -- にすると写し込みはされません。
- \* 日付や時刻の写る部分[画面右下]に白や黄色のものが あると、写し込まれた表示が見えにくくなりますので 注意してください。
- \* 日付や時刻の修正は、75ページをご覧ください。
- パノラマ撮影モードでも、日付や時刻の写し込みがで
- \* 日付や時刻の写り込みが薄くなったり、データバック の表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池 を交換してください。なお、電池の交換は74ページをご 覧ください。
- \* 使用上の注意が76ページにもありますので、そちらも ご靴ください。

カメラの準備と基本操

# (7)フィルムを入れます

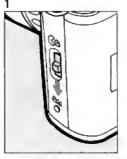
カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れ ないで練習されることをお勧めします。

フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感 度が自動的にセットされます。 [ISO25~5000までのフィルムが使えます。]

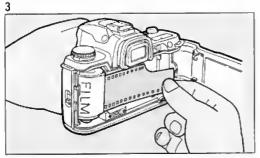
- \* ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセッ トできるDXフィルムですが、DX以外のフィルムの場 合は、73ページをご覧になり、フィルム感度を設定して からお使いください。
- \* カメラを購入後、初めてフィルムを入れるときには、 裏ぶたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター 幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。



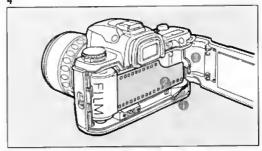




- 1、裏ぶた開放レバーを矢印の方向へ下げると、 裏ぶたが開きます。
- 2. 図のようにレンズ部分を左手でしっかりと持 ち、フィルムの凸部側を下にして下側から先 に入れ、次に上側を入れます。
  - \* フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないとこ ろで行なってください。



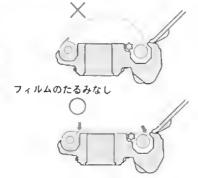
- 3. 左手でレンズを持ったまま、指やフィルム先端がシャッター幕に触れないように気を付けて、右手でフィルムを引き出します。
  - \* フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムをパトロー ネに戻してたるみを取ります。
  - \* フィルム室内のDX情報ピンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、 注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた 柔らかい布できれいに拭いてください。
  - \* シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますと破損させる恐れがありますので、絶対に触れないように注意してください。

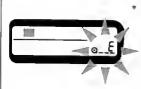


- 4. 図のように、フィルム先端部を赤色のフィルム先端マーク ●の右端に合わせます。
  - \* フィルム先端は、必ず◎のローラーの下に入れてくだ さい。
  - \* フィルムの穴[パーフォレーション]を図の歯[スプロケット]に合わせ、フィルムがまっすぐに入っていることを確認してください。
  - \* フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直してください。

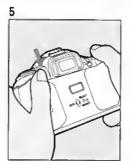
24

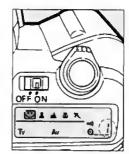
フィルムのたるみあり





\* 表示パネルに **Q\_\_**E が点滅しているときはフィ ルムが正しく入っていま せん。裏ぶたを開けて、 フィルムを入れ直してく ださい。

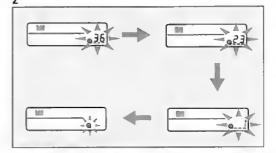




- 5. 裏ぶたを閉め、電源をONにすると、フィルムが自動的に 1 枚目まで進みます。
  - \* 表示パネルにフィルム枚数表示の 」」と Q\_\_\_ が出 ていることを確認します。
  - \* 表示パネルのフィルム枚数表示は、撮影するごとに 1 つずつ進みます。

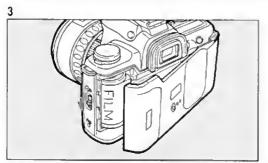
# AZ % 119354 XVINE G SE ABD 636

- 1. フィルムを最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。
  - \* 巻き戻し中は、表示パネルの **②\_\_\_** の 「---」 部分が 点滅して巻き戻し中であることを知らせます。
  - \* 巻き戻し中は、表示パネルの撮影枚数が逆算表示されます。
  - \* 巻き戻し中は裏ぶたを開けないでください。
  - \* フィルムは直射日光が当たらないところで取り出して ください。
  - \* 規定枚数になっても、まだ撮影が続けられるときは、 フィルムが最後まで進んでから巻き戻しが行なわれます。



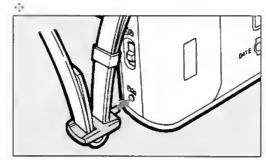
2. 巻き戻しが終了すると、表示パネルの Q が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。

26



- 3. 裏ぶたを開け、フィルムを取り出します。
  - \* 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約13秒です。
  - \* カメラを使わないときは、電源をOFFにしておいてください。

  - \* フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマ は現像所でカットされる場合があります。大事な写真 の場合は、規定枚数を撮り終わった時点で途中巻き戻 しを行ない、フィルムを交換してください。



∵フィルムの途中巻き戻し

フィルムの規定枚数まで撮り終わらないうちに途中で取り出したいときに使います。

電源をONにし、図の途中巻き戻しボタンをストラップ留め具の突起で押してください。

- \* 表示パネルの「○」の点滅を確認してから、裏ぶたを開けてください。
- \* 途中巻き戻しボタンを傷付けることがありますので、 ストラップ留め具以外は使わないでください。

# A 22 16 11 8 5.64 PENTAX

50

(1) オートピクチャーモードに合わせます

# Ⅱ基本的な使い方

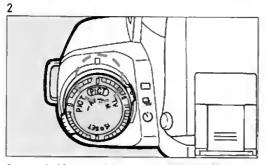
撮影

このモードは、最も簡単な露出モードで、カメラが自 動的に露出合わせをしますので、シャッターボタンを 押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

∞ 15 g 11 PENTAX 35-80

- 1、図のように、レンズの絞りを A 位置に合わ せます。
  - \* レンズの絞りを A 位置に合わせる場合は、絞りオー トロックボタンを押しながら回してください。なお、 A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを 押しながら回してください。

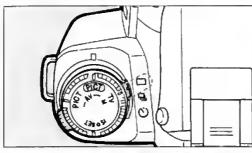
基本的な使い方



2. モードダイヤルを回して、 (PICT) 位置に合わ せます。

- オートピクチャーモードでは、写す物の大きさなどに より、カメラが自動的に5つのピクチャーモードの中 から最適なピクチャーモードを選びます。ピクチャー モードについては、54ページをご覧ください。
- \* オートピクチャーモードは、F·FAレンズでのみ可能で す。Aレンズでは、標準モード固定となります。
- \* ファインダー内には、その時に選ばれているビクチャー モードが表示され、表示パネルには、 マークが付
- \* 他の露出モードについては60~67ページをご覧くださ

# (2) 1コマ撮影にします



ドライブレバーを回して、 ロ 位置に合わせま す。

- \* シャッターボタンを押し続けても1度だけ撮影され る、最も一般的なモードです。
- \* ドライブレバーのその他の機能について43ページを ご覧ください。

# (3) ズームレンズの使い方

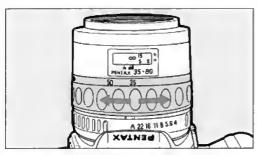
望遠側



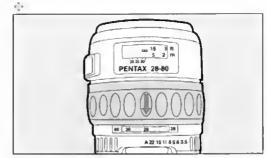
広角側

ズームレンズを使えば写したい物を大きくしたり、小 さくしたり自由に変えることができます。好みの大き さに合わせて撮影してください。

- \* レンズの焦点距離表示の数字を小さくすると、写る範 囲が広い広角[ワイド]側に、大きくすると、遠いものを 大きく写す望遠[テレ]側になります。
- \* このカメラにペンタックスFAズームレンズを組み合わ せても、イメージサイズ指定、ズームクリップ、露光間 ズームは使用できません。
- \* 露出モードがオートピクチャーでは、焦点距離を変え ると、自動的に選択されているピクチャーモードが変 化します。

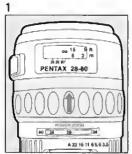


ズームリングを右に回すと望遠[テレ]へ、左に 回すと広角[ワイド]になります。



小パワーズーム可能なレンズの場合 ズームリングを手前に引いて、 POWER ZOOM の文字が隠れるようにして から、ズームリングを左右に回します。







- \* ズームリングは、回転させる角度によって、ズーミン グ速度が3段階に変化します。ズームリングの回転角度 を大きくする[当て付ける]と高速でズームが動き、小 さくすると低速で動きます。その中間位置では、中速 でズーミングできます。
- パワーズームでズーミングをすると自動的にピント合 わせも行なわれます。ただし、最終的なピント合わせ はシャッターボタンの半押しで行なってください。
- \* パワーズーム可能なFAズームレンズ使用時に、電源を OFFにすると、自動的にレンズの長さが最短になりま
- パワーズーム[電動ズーム]で使用するには
- 1. ズームリングを前側に押し出すようにして、 図のように POWER ZOOM の文字が見え るようにします。
- 2. ズームリングを右に回すと望遠 [テレ]側へ、 左に回すと広角[ワイド]側に動き、手を離す と止まります。

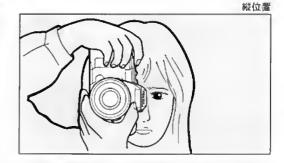


パワーズームの可能なレン ズは、図のようにマウント 部分に電源ピンが付いてい るFAズームレンズだけで



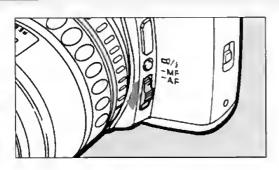
撮影するときは、カメラの構え方が大切です カメラが動いてしまうのを防いで、きれいな写 真が撮れます。

- 図のようにカメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンは指の腹で静かに押します。



- \* 木や建物・テーブルなどを利用して、体やカメラを安 定させると効果があります。
- \* 個人差はありますが、一般的には焦点距離の逆数が手 持ちの限界シャッター速度とされています。例えば、 焦点距離が50mmでは1/50秒、100mmでは1/100秒 などです。これ以下のシャッター速度になる場合には、 なるべく三脚を使用してください。
- 三脚を使用する場合は、別売りの「ケーブルスイッチF」 の利用をお勧めします。
- \* 望遠レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズ の総重量より重い三脚を使うとカメラぶれ防止に効果 があります。

# (5)オートフォーカスを選びます



オートフォーカスでは、シャッターボタンを半押し するだけで自動的にピント合わせが行なわれます。

フォーカスモードレバーを AF に合わせます。

\* このカメラでは、オートフォーカスを使わずに、 手動でピント合わせをすることもできます。詳 しくは、46ページをご覧ください。

基本的な使い方

# (6)撮影します





フォーカスモードレバーが **AF** 位置になって ることを確認します

- 1. 写真に赤線で示すように、ファインダー内の AFフレーム □ □ の内側に写したいもの を合わせ、シャッターボタンを半押しすると、 自動的にピント合わせが行なわれます。
- ピントが合うと、図のようにファインダー内の が光って、「ビビッ」と電子音が鳴ります。

- \* このカメラは、3点測距ですから、写したいものが画面 中央になくても、AFフレームの内側であれば、ピント を合わせることができます。
- \* シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファ インダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます。
- \* オートピクチャーモードでは、写す物の大きさなどにより、カメラが自動的に5つのピクチャーモードの中から最適なピクチャーモードを選びます。ピクチャーモードについては、54ページをご覧ください。また、ファインダー内には、その時に選ばれているピクチャーモードが表示され、表示パネルには、 マークが付きまま
- \* ストロボお勧め表示が出た場合には、内蔵ストロボを お使いください。内蔵ストロボについては、37ページを ご覧ください。
- \* ピントが合ったときの電子音は消すことができます。69 ページをご覧ください。
- \* オートフォーカス作動中は、レンズの距離リングに手 をかけたり回転を妨げたりしないでください。
- が点滅を続けるときは、以下の理由でピント 合わせができないときです。
- ① 撮影距離が近すぎる もう少し離れて撮影してください。
- ② オートフォーカスの苦手な物の場合。49ページをご覧ください。

36

基本的な使い方

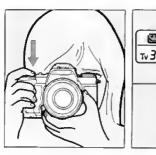
- 3. さらにシャッターボタンを押し切ると撮影できます。
  - \* シャッターを切ると自動的にフィルムが巻かれ、表示 パネルの枚数表示が1つ進みます。
  - \* ピントが合うまでシャッターは切れません。
  - \* シャッターボタンを半押しして、 が光っている間は、ピントがその位置で固定されていますので、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンから指を離して押し直してください。
  - \* SMCペンタックスFソフト85mmF2.8レンズを使用するときは、絞りをF2.8~F4.5で撮影してください。詳しくは50ページをご覧ください。

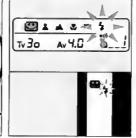
#### 動体予測

ジャッターボタン半押しでピント合わせをしているときに、カメラが写す物を動体と判断すると、自動的に動体 予測に切り替わります。この場合には、レンズが連続的に駆動し、常に写す物にピントを合わせ続けます。

\* 写す物が速すぎるときには、シャッターが切れないことがあります。

# (7)内蔵ストロボの基本的な使い方

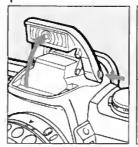


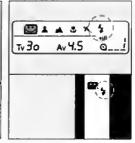


ストロボお勧めマークについて

ストロボが必要なときは、シャッターボタン半押し で、ファインダー内と表示パネルの 4 が点滅し ます。

\* 「も」の点滅は、露出モードがオートピクチャーモード・ ピクチャーモード・絞り優先自動露出では写したい物 が暗い場合と逆光の場合に、シャッター優先自動露出・ マニュアル露出では逆光の場合にのみ表示されます。



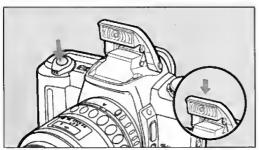


内蔵ストロボを使います

表示パネルに 5A が表示されているときは、こ の表示を消しておいてください。39ページをご 覧ください。

- 1. 図のように、ストロボボタンを押して、スト ロボを上に出します。
  - \* 充電が自動的に始まり、充電が終わると、表示パネ ルに な が表示されます。 シャッターボタンを半 押しすると、ファインダー内にも な が表示され
- \* レンズフードは、ストロボの光を遮ることがありま すので使わないでください。





- 2. シャッターボタンを押してストロボ撮影をし ます。撮影後、内蔵ストロボは右下の円内に 示した矢印部分を押して収納してください。
  - \* 写す物が明るくても常にストロボは発光します。
  - \* ストロボ充電中はシャッターは切れません。
  - \* ストロボを連続して使うと、電池が多少温かくなるこ とがありますが、異常ではありません。
  - \* 内蔵ストロボを上げた状態では、外付ストロボを取り 付けることができません。同時に使用する場合の接続 方法については、77ページをご覧ください。

オートピクチャーモード・ピクチャーモードの ストロボ撮影可能距離

ストロボ撮影できる距離は、表のように、ご使用になる レンズの開放絞り値により変化しますのでご注意くださ い。開放絞り値は、レンズに「1:1,4」のように表示さ れています。[F1.4の場合]

使用レンズの開放絞り値	摄影距離範囲
F1.4	#j 0.8~3,9m [5.6m]
F2	約0.8~3.3m[4.8m]
F2.8	約0.7~2.8m[4.0m]
F3.5、F4.7	約0.7~2.4m[4.0m]
F5.6	約0.7~2.0m[4.0m]

[ISO100のとき、カッコ内はISO400のとき]

- \* この撮影距離範囲は、露出モードがオートピクチャ・ モードおよび、ピクチャーモードの場合です。これ以 外の露出モードの撮影距離については71ページをご覧
- \* ストロボで撮影できる最短距離は、レンズの開放絞り 値がF2.8およびそれより暗いレンズを使用しても、常 に約0.7mとなります。0.7mより近距離で撮影すると露 出が正しく制御されません。また、ケラレなどが発生 しますのでご注意ください。

# レンズが不適切な場合の警告表示

ストロボ撮影に不適切なF・FAレンズを使用すると、充電完了時シャッターボタン半押しで、表示パネルの やファインダー内の が点滅して警告します。内蔵ストロボの適・不適レンズについては、72ページをご覧ください。

- \* 警告が出た状態で撮影すると、画面の四隅が暗くなる ケラレが出たり、画面下部に半円形のケラレが出ます のでご注意ください。
- \* F·FAレンズ以外では警告表示は出ません。



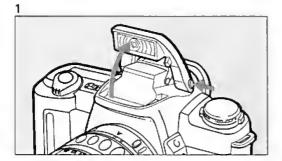
#### 側面ボタンについて

内蔵ストロボが上がっているときに、側面ボタンを押す と、下記の順番でストロボの発光方式を選ぶことができ ます。



\* 内蔵ストロポが上がっていない状態では、電子音の切り替えになります。69ページをご覧ください。

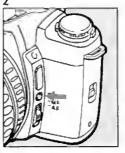
#### 4U\_



赤目軽減機能について

このカメラには、ストロボ2度発光による赤目軽減機 能が付いています。

シャッターが切れる直前にストロボ発光[小光量]が行われ、瞳径を小さくしてからストロボ撮影をするので目が赤く写るのを目立たなくすることができます。





セット方法

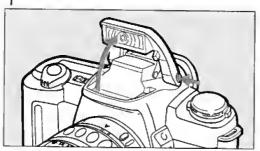
- ストロボボタンを押して、ストロボを上に出 します。
- 側面ボタンを押して、表示パネルに を表示させます。

- \* 側面ボタンは、内蔵ストロボが上がっている状態で押してください。上がっていない状態では、電子音の切り替えになってしまいます。
- ※ 赤目軽減機能とAF500FT72などのストロボのスレーブ 機能を組み合わせると、1度目のブリ発光で外付けストロボが発光してしまいますので、スレーブ使用時は赤 日軽減機能は使わないでください。
- \* 外付けストロボのみを使用しているときは、表示バネルに か が表示されていてもストロボ2度発光による 赤目軽減機能は働きません。
- \* 赤目軽減機能の解除は、セット時と同様に、ストロボ を上に出した状態で、側面ボタンを押して表示パネル の ● 表示を消してください。

#### 赤目現象とは

一般に「赤目現象」といわれ、暗い中で人物のストロボ 撮影を行なったときに、目が赤く写る現象です。これは、ストロボの光が目の網膜に反射するために起こる現象と 言われています。赤目を完全に防ぐことはできませんが、できるだけ周りを明るくして撮影するか、 ズームレンズ を使用している場合には広角側にして近距離で撮影する などの方法を利用すると軽減することができます。 外付けのストロボをご使用のときは、トロボをできるだけカメラから離すと効果があります。





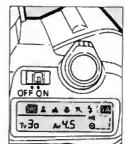
ストロボ自動発光モードについて

このモードは、内蔵ストロボを上げたままでも、必要なときにだけストロボを発光させることができる便利なモードです。

#### セット方法

- ストロボボタンを押して、ストロボを上に出 します。
- 2. 側面ボタンを押して、表示パネルに **⚠** を表示させます。





- \* ストロボが自動的に発光するのは、オートピクチャー モードおよびピクチャーモードで、写す物が暗い場合 と逆光の場合です。それ以外の露出モードでは、ストロボは常に発光します。
- \* 側面ボタンは、内蔵ストロボが上がっている状態で押してください。上がっていない状態では、電子音の切り替えになってしまいます。

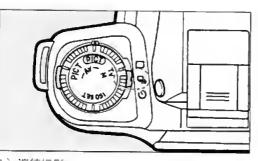
# (1)ドライブモードを切り替えます

このカメラには、図のように 3 種類のドライブ モードがあります。

ドライブモードの種類

- ・1コマ撮影 ロ
- ・連続撮影 □
- セルフタイマー撮影 ○
- :シャッターボタンを押し切ると、1回だけシャッターが切れます。最も一般的なドライブモードでま。
- :シャッターボタンを押し切っている間、連続的に シャッターが切れます。44ページをご覧ください。
- ンナッケーがのれます。44 ページをご覧く さい。

# Ⅲ応用的な使い方



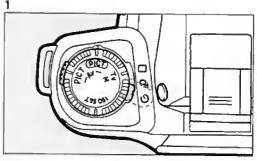
# 1) 連続摄影

応用的な使い方

シャッターボタンを押している間、連続的にシャッターが切れます。

# ドライブレバーを回して □ 位置に合わせます。

- \* 連続撮影では、シャッターが1回切れる毎にその都度ピント合わせを行ないます。
- \* 内蔵ストロボを使うときは、充電が完了してからシャッ ターが切れます。



#### 2) セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影は、撮影者も入って記念撮影などをするときに使います シャッターボタンを押すと、約12秒後にシャッター が切れます。

1. ドライブレバーを回して o 位置に合わせます。

- シャッターボタンを半押しして写したいもの にピントを合わせ、シャッターボタンを押し 切るとセルフタイマーが始動します。
  - \* セルフタイマーの作動中は電子音で知らせ、シャッター が切れる約2秒前から、電子音も速い断続音「ビッピッ ピッ」になります。
  - \* セルフタイマーを始動後に中止したいときは、ドライ ブレバーを 以外の位置にするか、電源をOFFにし てください。





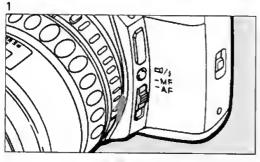
・セルフタイマーでは、ファインダーから入る 光が、自動露出に影響を与える場合がありま すので、付属のファインダーキャップをご利 用ください。

「ファインダーキャップ」などのアクセサリー の取り付けは、アイカップ F。を手前に引っ 張り、取り外してから行ないます。

#### 16

応用的な使い方

# (2)手動によるピント合わせ



ファインダー内の合焦マーク O を利用する 場合

開放F値がF5.6以上の明るいレンズ[F1.2~5.6]では、ファインダー内の合焦マーク ○ を利用した手動 ピント合わせができます。





#### 使い方

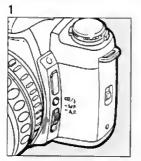
- フォーカスモードレバーを MF に合わせます。
- ファインダーを覗きながらシャッターボタンを半押しした状態で、レンズの距離リングを 左右に回してください。
- ピントが合うとファインダー内の合焦マーク ○ が光って「ピピッ」と電子音が鳴ります。 そのままシャッターボタンを押し切って撮影 してください。
  - \* 電子音は、消すことができます。69ページをご覧ください。

- \* 旧タイプのねじ込み取り付け式レンズを別売りの「マ ウントアダプターK」で取り付けても、ファインダー内 の合焦マーク「〇」によるピント合わせはできません。
- \* ピントが合うと、ファインダー内の合焦マーク 〇 の 点灯と同時に「ピピッ」と電子音が鳴りますが、電子音 を消すこともできます。69ページをご覧ください。
- \* F·FA以外のレンズでは、スポットAFフレームのみが 有効となりますので、この範囲内にピントを合わせた い物を入れてください。

#### オートフォーカスが使えない場合

以下の理由で、オートフォーカスやファインダー内の合 焦マーク ○ が使えない場合は、48ページの方法でファ インダーのマット面を利用した手動ピント合わせをして

- a) 「オートフォーカスの苦手な物」で合焦マーク 〇 が 点滅しているとき。49ページをご覧ください。
- b) 開放F値がF5.6より暗いレンズを使っているとき。
- c) ベローズ100mmF4、シフト28mmF3.5[シフト状態]、 レフレックスタイプのレンズを使用したとき。
- d) 旧タイプのねじ込み取り付け式レンズを別売りの「マ ウントアダプターK」で取り付けて使用したとき。





# 使い方

1. フォーカスモードレバーを MF に合わせま

ω,

A 22 W 11 8 5 8 4

2. ファインダーを覗きながら、レンズの距離リ ングを左右に回してファインダー内の映像が 最もはっきり見えるようにピントを合わせ、 撮影してください。

# スナップインフォーカス撮影について

前もってピントを合わせておいた所に写したい物が 来たときに、自動的にシャッターが切れるように、 待ち伏せすることをスナップインフォーカス撮影と いいます。

- 1、レンズはオートフォーカス用でないレンズ[F・ FA以外のレンズ]を使用します。
- 2. フォーカスモードレバーを AF に合わせま す。
- 3. 写したいものが通りそうな位置にピントを合 わせておきます。
- 4. ケーブルスイッチFを使って、シャッターボ タンを押し切った状態にします。
- 5. 写したいものがピントを合わせた位置に来る と、自動的に撮影されます。



#### オートフォーカスの苦手な物

オートフェーカス機構はきわめて高精度のものですが、 万能ではありません。写す物が右記のような場合には、 ピントが合わないことがあります。ファインダー内の合 焦マーク ○ を利用しての手動ピント合わせも同様です。 そんなときは、フォーカスモードレバーを MF にセットして、従来の一眼レフカメラと同様にファインダーの マット面を利用して手動ピント合わせを行なってください。マット面を利用したピント合せについては48ページをご覧ください。

- a) AFフレーム □ □ の内側が白い壁などの極端にコントラスト[明暗差]の低い物だけの場合。
- b) AFフレーム C コ に光を反射しにくい物がある場合。
- c) 非常に速い速度で移動している物。
- d) 遠近のものがAFフレーム □ □ の中で同時に存在する場合。
- e) 反射の強い光、強い逆光[周辺が特に明るい物]。

#### 50

#### アクセサリーの注意

以下の条件では、オートフォーカスやファインダー内の合焦マーク ○ を利用した手動ピント合わせができません。48ページの手順に従って、ファインダー内のマット面で手動ピント合わせをしてください。

- a) 特殊なフィルターや「マジックイメージアタッチメント」・「ステレオアダプター」などを使った場合。
- b)「接写リング」や「オートベローズ」を使った拡大接 写撮影の場合。

SMCペンタックスFソフト85mmF2.8使用時の 注意

約1.5mより近距離の撮影をするときは、レンズの絞りを  $F2.8\sim4.5$ でご使用ください。これより小絞り $[F5.6\sim32]$  にすると、カメラのオートフォーカス $[ファインダー内の 合焦マーク <math>\bigcirc$  を利用した手動ピント合わせも同様]が 正しく働かないことがあります。F5.6より小絞りを使う 場合には、一旦レンズの絞りをF4.5に合わせてピント合わせを行ない、シャッターボタン半押しのまま希望の絞りに戻して撮影してください。

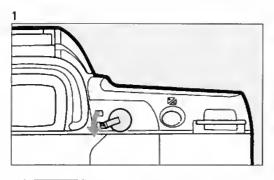
FAソフト85mmF2.8レンズでは、上記の操作は必要ありません。

#### 偏光フィルターについて

オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。

# 応用的な使い方

# (3) パノラマ撮影



このカメラでは、フィルムの入ったままでも自由にパノラマと標準撮影とを切り替えることができます。パノラマ撮影ではフィルム上で横長に写りますので、パノラマプリントにするとダイナミックな写真が楽しめます。

 パノラマ切り替えレバーを □ に合わせる とパノラマ撮影モードになります。



- 2. パノラマの視野枠内に写したいものを入れて 撮影してください。
- \* パノラマに切り替えると、ファインダーもパノラマ用 に横長になります。

bZ

- \* バノラマ切り替えレバーのセットは、バノラマ撮影

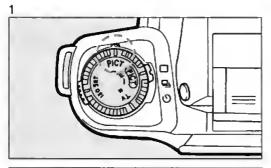
  □■ か標準撮影
  □□ どちらかの止まる位置まで確実に
  動かしてください。レバーを途中の位置にすると、正
  しく写らなくなります。
- \* ブリントする際に画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めると きに少し余裕を取っておくと安心です。
- \* バノラマ撮影モードでも、日付や時刻を写し込むこと ができます。使い方は標準撮影と同じですから、21ペー ジをご覧ください。

- ・パノラマモードで撮影した場合、通常の同時プリントに比べ日数、料金がかかります。詳しくは、お店でおたずねください。
- パノラマ撮影では、図のように標準撮影のフィルム1コマ分の上下をカットするだけですから撮影枚数は、標準撮影のときと同じです。

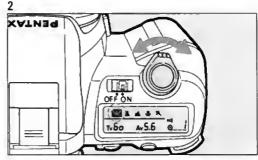


- パノラマでは、フィルム上に13mm×36mmの大きさで画像を写し込み、プリント段階では約12mm×35mmの範囲のプリントを行ないます。
- ・パノラマプリントはおよそ89×254mmのサイズにブリントされます。これは標準撮影されたフィルムを六ツ切りサイズに引き伸ばしたものとほぼ同じ倍率になります。

# (4) ピクチャーモードの使い方



このカメラには、写す物の大きさなどによって、自動的に最適なピクチャーモードを選ぶオートピクチャーモードがありますが、好みのピクチャーモードを前もって選んでおくこともできます。ピクチャーモードには、下記のように5つのモードがあります。各モードについては55~59ページをご覧ください。



#### 設定方法

- レンズの絞りをA位置にします
- モードダイヤルを回して、 PICT 位置に合わ せます。
- セレクトレバーを回して、表示パネルの希望 のモードに □ を合わせます。



54

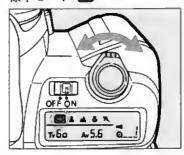
応用的な使い方



#### →露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように 表示パネルとファインダー内のシャッター速度と絞り値 表示が点滅して警告します。明るすぎるときはもう少し 暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎると きは、ストロポなどをご利用ください。

# 標準モード 😇





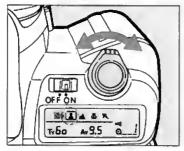
一般的な撮影をするときにこのモードを使うと便利・ です。

# 設定方法

モードダイヤルを PICT に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの い に 口 を合 わせます。

\* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に が表示されます。また、表示パネルとファインダー 内には絞り値とシャッター速度も表示されます。

# 人物モード「よ







人物撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

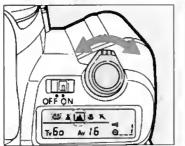
#### 設定方法

モードダイヤルを PICT に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの 1 に 口 を合 わせます。

\* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に ☆ が表示されます。また、表示パネルとファインダー 内には絞り値とシャッター速度も表示されます。

このモードで人物撮影をすると、望遠系のレンズではバッ クの風景をぼかして人物を浮きたたせることができます。 一方、広角系のレンズでは、集合写真などに便利なよう に比較的広い範囲にピントが合うようになっていますの で、全員にピントの合った写真が撮れますので、記念写 真、スナップなどに幅広くご利用いただけます。

# 風景モード 🔳







風景撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

#### 設定方法

モードダイヤルを PICT に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの ▲ に □ を合 わせます。

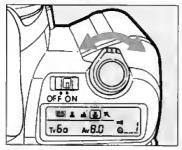
\* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に か表示されます。また、表示パネルとファインダー内には絞り値とシャッター速度も表示されます。

このモードで風景撮影をすると、近くから遠くまで風景全体にピントの合った写真が撮れます。

58

応用的な使い方

# 近接モード 🐷







花などを近くで撮影するときに使うと便利です。

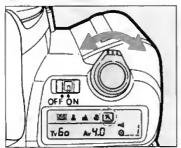
# 設定方法

モードダイヤルを PICT に合わせ、セレクトレバーを回して、表示パネルの & に 口 を合わせます。

\* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に ・ が表示されます。また、表示パネルとファインダー 内には絞り値とシャッター速度も表示されます。

このモードで撮影を行うと、ピントの合う範囲が広くなっていますので、シャープな写真が撮れます。

## 動体モード 区







動きの速い物を写すときに使うと便利です。

#### 設定方法

モードダイヤルを PICT に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの ★ に □ を合 わせます。

\* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に が表示されます。また、表示パネルとファインダー 内には絞り値とシャッター速度も表示されます。

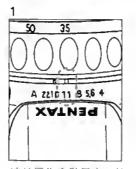
このモードで撮影すると、動きの速いものでもぶれずに 動きを止めてはっきりとした写真を撮ることができます。

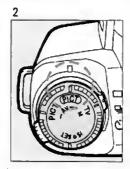
60

# (5) いろいろな露出モードを選びます

各露出モードは、下表のようにモードダイヤルと絞りの 組み合わせによって決まります。

モードダイヤル		PICT	PICT	Tv	
絞り	A	オートピクチャー	ピクチャー	シャッター優先	
	A以外	絞り優先	絞り優先	マニュアル	



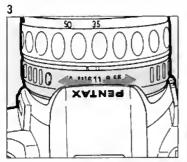


絞り優先自動露出の使い方

希望の絞りに合わせると、写す物の明るさに応じて シャッター速度が自動的に変わります。ピントの合 う範囲を広くしたい風景写真や、背景をぽかしたい 人物の撮影などに適しています。絞りの効果につい ては、87ページをご覧ください。

- 1. 絞りを A 位置以外に合わせます。
- 2. モードダイヤルを回して、 PED あるいは PICT 位置に合わせます。







## 3. 絞りリングで好みの絞りを選びます。

- \* シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファインダー内に絞り値の目安とシャッター速度が表示されます。絞り値の目安が表示されるのは、FAおよびFレンズの場合だけです。他のレンズの場合は表示されません。
- \* Aレンズ50mmF1.2の場合、絞り A 位置以外では、測 光方式は中央重点測光になります。また、露出が約1 EVオーバーになりますので、露出補正[マイナス補正] をご利用ください。
- \* ファインダー内に表示される絞り値は、日安表示です。 従って、絞りリングでセットした絞りと表示される絞 り値は、必ずしも一致しません。

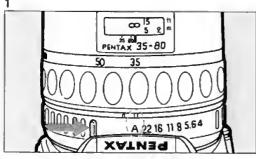


#### 中露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように表示パネルとファインダー内のシャッター速度表示が点滅して警告します。明るすぎるときは絞りを小絞り側[数字の大きい方]に、暗すざるときは絞りを開放側[数字の小さい方]にして点滅が止まれば撮影できます。

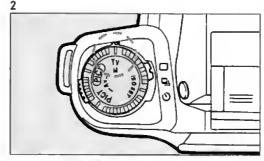
なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、絞りを変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。



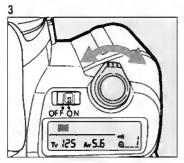


シャッター優先自動露出の使い方

希望のシャッター速度に合わせると、写したい物の明るさに応じて絞りが自動的に変わります。速い速度で動きを止めたり、遅い速度で動感を出すのに適しています。シャッター速度の効果については、86ページをご覧ください。



- 1、 絞りを A 位置に合わせます。
- モードダイヤルを回して、 Tv 位置に合わせます。





- 3. セレクトレバーで好みのシャッター速度を選 びます。
  - \* シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファ インダー内にシャッター速度と、絞り値が表示されま す。ただし、表示パネルのシャッター速度は、電源が ONであれば常に表示されます。



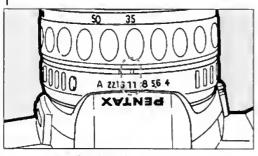
#### ◆露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように 表示パネルとファインダーの絞り値表示が点滅して警告 します。明るすぎるときはシャッター速度を速く、暗す ぎるときはシャッター速度を遅くして点滅が止まれば撮 影できます。

なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅し た場合は測光範囲外ですから、シャッター速度を変えて も適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少 し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎる ときは、ストロボなどをご利用ください。

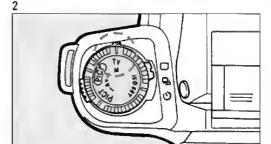


応用的な使い方

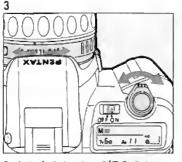


マニュアル露出の使い方

常に同じシャッター速度と絞りの組み合わせで撮影 をする場合や、意図的に露出オーバー[明るい写真] や露出アンダー[暗い写真]にするときに使います。



- 1. 絞りを A 位置以外に合わせます。
- 2. モードダイヤルを回して、 Tv 位置に合わせ ます。
  - \* 表示パネルに M が表示され、マニュアル露出である ことを知らせます。





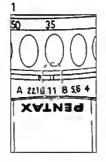
- 3. セレクトレバーで好みのシャッター速度を、 絞りリングで好みの絞りを選びます。
- \* シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファインダー内に絞り値の目安とシャッター速度が表示されます。ファインダー内には、バーグラフが表示されます。絞り値の目安が表示されるのは、FAおよびFレンズの場合だけです。他のレンズの場合は表示されません。
- \* ファインダー内に表示される絞り値は、日安表示です。 従って、絞りリングでセットした絞りと表示される絞 り値は、必ずしも一致しません。

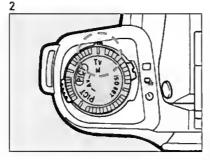
- \* 表示パネルのシャッター速度は、電源がONであれば常 に表示されます。
- \* バーグラフの黒丸が[○]側に並んでいるときは露出不足、○ 側に並んでいるときは露出がオーバーです。
   中心にあれば適正露出です。バーグラフの黒丸 1 個は 1/2 段階[1/2EV]に相当します。ただし、±2 段階[±2EV]を超えた場合は、「○ あるいは が点滅表示します。
- \* Aレンズ50mmF1.2 の場合、絞り A 位置以外では、測 光方式は中央重点測光になります。また、露出が約 1E Vオーバーになりますので、露出補正[マイナス補正]を ご利用ください。

#### 小蛇出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、表示パネルとファインダー内のシャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅し、測光範囲外を知らせます。シャッター速度や絞りを変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。











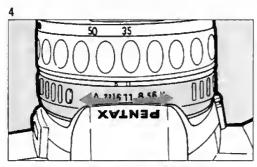
バルブの使い方

花火、夜景などの撮影で長時間シャッターを開いて おく必要のあるときにご利用ください。シャッター ボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

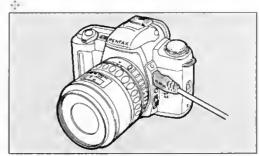
- 1、絞りを A 位置以外に合わせます。
- モードダイヤルを回して、 Tv 位置に合わせます。
- セレクトレバーを回し、シャッター速度を低速側に移動させ、表示パネルとファインダー内に bo を表示させます。

- \* 表示パネルには M が表示されます。
- \* シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファインダー内に絞り値の目安が表示されます。この表示が出るのは、FAおよびFレンズの場合だけで、他のレンズでは表示されません。
- \* ファインダー内に表示される絞り値は、目安表示です。 従って、絞りリングでセットした絞りと表示される絞 り値は、必ずしも一致しません。

68

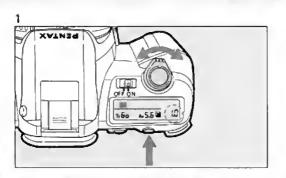


- 4. 絞りリングで好みの絞りを選びます。
- \* 新品のリチウム電池[常温]で、約8時間の長時間露出 ができます。



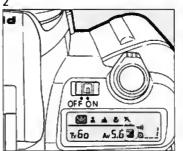
∴バルブで撮影するときは、ぶれ防止のためしっかりした三脚を使用し、別売りの「ケーブルスイッチF」をレリーズソケットに付いているレリーズキャップFを外してから差し込んでご利用ください。

## (6) 露出補正について



意図的に露出オーバー[明るい写真]や露出アンダー [暗い写真]にしたいときなどに使います。

1. 露出補正ボタンを押しながらセレクトレバー を回し、好みの補正値を選びます。

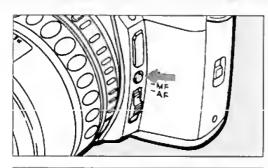




δο FS.δ

- 2. 露出補正中は、ファインダー内にバーグラフと 図 が、表示パネルには、 図 が表示されます。
  - \* 露出補正はオートピクチャーモード、マニュアル露出および、バルブでは使えません。
  - \* 露出補正は、-3~+3 段階[EV]の範囲で0.5段階 [EV]ごとに行なえます。
  - \* ファインダー内のバーグラフの黒丸の移動量1つが 0.5段階[EV] に相当します。ただし、±2段階を越 えた設定の場合は、黒丸が点滅します。
  - \*電源をOFFにしたり、他の露出モードにしても、露出補正は解除されません。





ピントが合ったときの電子音を消すことができます。

側面ボタンを押して、表示パネルの 👊 表示を 消します。

- \* 電子音の切り替えは、内蔵ストロボが上がっていない 状態で行なってください。上がった状態で側面ボタン を押すと、ストロボの発光方式が切り替わってしまい
- \* 電子音を消しても、セルフタイマー作動時の音は消え ません。
- \* 電子音を再び鳴らすには、同様に側面ボタンを押して を表示させます。

## (8) 内蔵ストロボについて、もっと知りたい方へ

オートピクチャーモード・ピクチャーモードを 使うとき

- 周りの明るさに合わせて、シャッター速度と絞りが自動的に変化しますので、簡単にストロボ撮影ができます。
- ・シャッター速度は、1/100 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、シャッター速度の低速限界はご使用レンズの焦点距離によって変化します。ただし、オートフォーカス用でないレンズ $[F \cdot FA以外のレンズ]$ 使用時および、動体モードでは 1/100 秒固定になります。

シャッター優先自動露出を使うとき

- 動きのある物を写すときに、ぶれの効果を変えてストロボ撮影ができます。
- 1/100 秒以下のシャッター速度を自由に選んでストロ ボ撮影ができます。
- 周りの明るさに合わせて自動的に絞り値が変化しますので簡単にストロボ撮影ができます。

絞り優先自動露出を使うとき

- ピントの合う範囲[被写界深度]を変えて撮影したいときや、より遠くの物を写したいときなどに、絞りを自由に変えてストロボ撮影ができます。
- 周りの明るさに合わせて自動的にシャッター速度が変化しますので簡単にストロボ撮影ができます。
- ・シャッター速度は1/100 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、シャッター速度の低速限界はご使用レンズの焦点距離によって変化します。ただし、オートフォーカス用でないレンズ[F・FA以外のレンズ]使用時および、動体モードでは1/100 秒固定になります。

マニュアル鷲出を使うとき

1/100 砂以下のシャッター速度と絞りを自由に組み合わせて、ストロボ撮影ができますので、背景の明るさを自由に変えてのストロボ撮影などができます。

#### 使用絞りから撮影距離を計算します

遠距離側の目安 ガイドナンバー ÷ 使用絞り 近距離側の目安 遠距離側目安 ÷ 5 [注]

ただし、0.7m以下の距離では使えません。0.7mより近 距離で撮影すると、ストロポ光のムラやケラレおよび露 出オーバーの原因となります。

注:割り算で使用した数値の「5」は、このカメラの内 蔵ストロボを単独で使用した場合にのみ適用される 数値です。

なお、ガイドナンバーは使用するフィルム感度[ISO]により下の表のようになります。

1SO25 → 5.5	ISO200 → 15,6
1SO50 → 7.8	1SO400 → 22
ISO100 → 11	

ここでISO100のフィルムを絞りF2.8で使うときの例をあげます。

ガイドナンバー(11)÷F2.8=3.9m

3.9:5-0.8m

従って、約0.8mから3.9mの範囲でストロポが使えます。

撮影距離から使用絞りを計算します

#### ガイドナンバー ÷ 撮影距離=使用絞り

計算で出た数字が「3」のようにレンズの絞り値にない値になったときは、一般的に数字の小さい方[2.8]にします。

シャッター優先自動露出のときの撮影距離を計算します

撮影可能距離は、前記の使用絞りから撮影距離を計算する方法と同様ですが、シャッター優先自動露出では、明るさによって絞りが開放から最小絞りまで変化しますので、そのときの絞り値によって、撮影距離は変化します。

#### 72

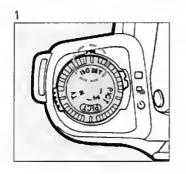
#### F・FAレンスの内蔵ストロボ適合表[○は使用可、×のレンズではケラレが発生します]

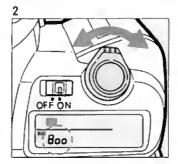
レンズ名	適合
FA20mmF2.8	×
FA*24mmF2	×
FA28mmF2.8	0
FA43mmF1.9 Limited	0
FA50mmF1.4	0
FA50mmF1.7	0
FA77mmF1.8 Limited	0
FA*85mmF1.4	0
FA135mmF2.8	0
FA*200mmF2.8	0
FA*300mmF2.8	×
FA*300mmF4.5	0
FA*400mmF5.6	0
FA*600mmF4	×
FAマクロ50mmF2.8	0
FA マクロ 100mm F2.8	0
FAマクロ100mmF3.5	0
FA ソフト 28mm F2.8	0
FA ソフト 85mm F2.8	0

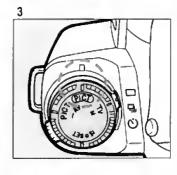
ではケラレが死生しまり」	
レンズ名	適合
F ズーム 17~28mmF3.5~4.5	×
FA X-420~35mmF4	△ *ι
FA ズーム 28~70mmF4	0
FA*X- 4 28~70mmF2.8	×
FA X-4 28~80mmF3.5~5.6	△ *1
FA ズーム 28~105mmF4~5.6	
F ズーム 35~80mmF4~5.6	0
FA X-4 70~200mmF4~5.6	0
FA*X- 480~200mmF2.8	△ *1
FA X-480~320mmF4.5~5.6	0
F ズーム 80~200mmF4.7~5.6	0
F ズーム 100~300mm F4.5~5.6	0
FA X-4 100~300mmF4.5~5,6	0
FA*ズーム 250~600mmF5.6	×

- ◆1:焦点距離が28mm未満ではケラレが発生する場合がありま
- ※2:焦点距離が28~35mmで撮影距離が3m以下の場合と、35 mmで撮影距離が1m以下ではケラレが発生する場合があり
- ◆3:焦点距離が28~35mmの場合と、35mmで撮影距離が1.5m 以下の場合ケラレが発生する場合があります。
- 中4:焦点距離が80~90mmの場合ケラレが発生する場合があります。

## (9) DXでないフィルム使用時の感度設定方法





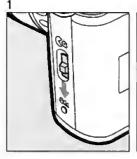


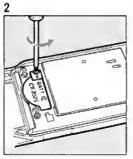
このカメラでは、フィルムをカメラに入れたときに、 自動的にフィルム感度が設定されますが、一部のD Xでないフィルムを使う場合は、下記の方法でフィ ルム感度を設定してください。

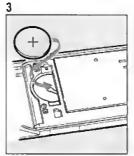
#### 設定方法

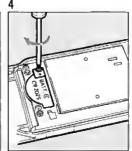
- モードダイヤルを回して、ISO SET に合わせます。
- 2. セレクトレバーを回して、フィルム感度を変えます。
- 3. 設定終了後、モードダイヤルを回して ISO SET 以外の位置に合わせます。
  - \* 数字を小さい方へ変化させたいときは、セレクトレバー を左に、大きい方へ変化させたいときは、右に回して ください。
  - \* モードダイヤルが ISO SET 位置では、シャッターが 切れません。
  - \* DXの態度と違うフィルム態度を設定したときには、表示パネルに ISO 表示が出ます。

## (10) 日付や時刻の写し込みが薄くなったときの電池交換





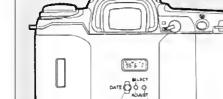




電池の寿命は約3年です。写真に写る日付や時刻が 薄くなってきたり、写らなくなった場合には電池を 交換してください。

- 1. フィルムが入っていないことを確認して裏ぶ たを開けます。
- 裏ぶた内側に ←BATT.Q マークで示されて いるネジをドライバーで回して電池ぶたを外 します。
- 3. 古い電池を取り出し、新しい電池を + 側を 上にして入れます。
- 4. 電池ぶたを元の位置に戻し、ネジをドライバー で締めます。

- \* 電池を入れると日付や時刻が表示されます。表示が出ないときは電池の+-が正しく入っているかを確認してください。
- \* 電池交換後は、日付や時刻の修正を行なってから撮影 してください。日付や時刻の修正については75ページ をご覧ください。
- \* 電池は必ず、決められたリチウム電池 CR2025 を 1 個 使用します。
- \* 電池交換は、最寄りのサービスセンターでも承ります。 (有料)





■ DATE ボタン

(11) 日付や時刻の修正

- 図= SELECT ボタン
- ⑥= ADJUST ボタン

日付や時刻の修正方法

#### 「年月日」の修正

修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を 利用してください。

- 1. ②の SELECT ボタンを押して、年月日表示 のうち修正したい数字を点滅させます。
- 2, ®の ADJUST ボタンを押して、点滅してい る数字の修正を行ないます。
  - 3. 修正後は、②の SELECT ボタンを押して、 点滅を止めます。
  - \* 点滅の順番は、年→月→日→年です。
  - \* ADJUST ボタンは、一回押すごとに数字が一つ進み ます。押し続けると約2~3秒後からは早送りされま

76

#### 「時分秒」の修正

修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を 利用してください。

- 1. ②の SELECT ボタンを押し、時・分・「:」 表示のうち修正したい数字[秒の場合は:]を 点滅させます。
- 2. ®の ADJUST ボタンを押して、点滅してい る数字の修正を行ないます。
- 3.0秒にセットするには、「:」点滅のときに◎ の ADJUST ボタンを押してください。
- 4. 修正後は、②の SELECT ボタンを押して、 点滅を止めます。
  - \* 点滅の順番は、時→分→:→時です。
  - \* ADJUST ボタンは、一回押すごとに数字が一つ進み ます。押し続けると約2~3秒後からは早送りされま
  - \* 修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を利用し てください。

#### 使用上の注意

- \* 使用可能温度は約50℃~0℃ですが、低温下では、写し 込まれる文字が薄くなることがあります。
- \* 使用できるフィルム感度はISO25~1600までです。感度 はカメラにフィルムを入れると自動的にセットされま す。
- \* 高感度フィルム[ISO 1000以上]を使ったときは、写し 込まれる文字がにじむことがあります。
- \* ISO 50以下のフィルムは、フィルムにより写し込まれ る文字が薄くなることがあります。
- \* 修正途中[点滅表示中]は、シャッターを切っても日付 や時刻は写し込まれません。



## (12) 外付けストロボの使い方

カメラの内蔵ストロボでは光量が不足するときは、 外付けストロボを利用してください。[結婚披露宴 やパーティーなどで便利です]

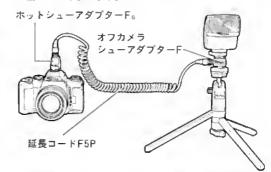
#### TTLオートで使います

- カメラのホットシューに付いているホットシューカバーF。を外し、ストロボを取り付けます。
- 2. ストロボの電源スイッチを入れます。
- 3. ストロボの発光モードをTTLオートにします。
- 4. ストロボの充電完了を確認します。
- 5. ピントを合わせて撮影します。
  - \* ストロボの充電完了ランプが点がすると、カメラのシャッターボタンを半押ししたときに、ファインダー内の 4 も点灯しますので、ファインダーでも充電完了の 確認ができます。
  - \* 撮影できる距離については、外付けストロボの説明書 をご覧ください。
  - \* 各露出モードでのシャッター速度・絞り値の変化については、外付けストロボの説明書をご覧ください。

内蔵ストロボと外付けストロボの同時使用方法 このカメラでは、カメラのホットシュー部分に外付けストロボを付けた状態では内蔵ストロボを上げることができません。内蔵ストロボと外付ストロボを同時に使う場合は、カメラのホットシュー部分に別売りのホットシューアダブターFaを取り付け、更に外付けストロボの下とコーアダブタードを付け、延長コードF5Pで接続します。オフカメラシューアダブタードの下には三脚取り付け用のねじがありますので、三脚に固定することができます。

#### AF400TEDUT

AF400Tをつないだ状態では、内蔵ストロボは使用できません。内蔵ストロボを上げると、4PシンクロコードBに当たってしまいます。



#### 78

応用的な使い方

#### AF500FTZ, AF330FTZ

- 暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポットビーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、オートフォーカスを働かせることができます。
- ◆ オートズーム機構付きですから、レンズの焦点距離に 対応して自動的に照射角度が変化します。[F・FAレンズ使用時のみ]
- 露出モードがオートピクチャーモード、ピクチャーモード、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光モードがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- 充電完了後およそ3分以上放置したときは、ストロボの電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタンを半押しするとストロボの充電が再開されます。

#### AF240FT, AF400FTZ

- 暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポットビーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、オートフォーカスを働かせることができます。
- 露出モードがオートビクチャーモード、ビクチャーモード、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光モードがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- ◆ 充電完了後およそ5分以上放置したときは、ストロボの電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタンを半押しするとストロボの充電が再開されます。

#### AF200T, AF280T, AF400T

- TTLオートモードで使用すると、周りの明るさによってシャッター速度が1/100秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、シャッター速度の低速限界はレンズの焦点距離によって変化します。ただし、オートフォーカス用でないレンズ[F・FA以外のレンズ]使用時おえび、動体モードでは、1/100秒固定になります。絞り値は固定となりますが、フィルム感度により変化します。
- 外光オート[赤・緑・黄位置]で使用すると、使用するフィルムの感度により、絞りは固定値となります。詳しくは、ストロボの使用説明書をご覧ください。光電が完了すると、シャッター速度も 1/100 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、シャッター速度の低速限界はご使用レンズの焦点距離によって変化します。ただし、オートフォーカス用でないレンズ[F・FA以外のレンズ]使用時および、動体モードでは、1/100 秒固定になります。

	AF200T	A F 280 T	AF400T
赤	F2.8	F4	F4
緑	F5.6	F8	F8
黄			F11

[ISO 100の場合]

#### ストロボ撮影「使用上」の注意

内蔵ストロボとペンタックス専用の外付けストロボを組 み合わせて同時に使用した場合、外付けストロボが後幕 シンクロに設定されていれば、内蔵ストロボも後籍シン クロになります。撮影時は、各ストロボの充電の完了を 確認してからシャッターを切ってください。

#### その他のストロボを使用した場合

- 他社製ストロボを組み合わせると、故障の原因になる 場合があります。ペンタックス専用オートストロボの 使用をお勧めします。
- スタジオ用の大型ストロボでは、極性が逆になってい る物があります。このタイプでは、MZ-10と組み合わ せてもストロボが発光しません。詳しくは、ストロボ メーカーにご相談ください。また、大型ストロボでは、 後幕によるケラレを防ぐため、同調速度より一段低い シャッター速度での使用をお勧めします。

#### 光量比制御シンクロ撮影

AF330FTZまたはAF500FTZとカメラの内蔵ストロボを組 み合わせることで、2つのストロボの光量の違いを利用し た増灯撮影[光量比制御シンクロ撮影]ができます。

- 1.77ページの方法で、外付けストロボをカメラ から離して接続します。
- 2. AF330FTZまたはAF500FTZのシンクロモー ドを光量比制御モードにします。
- 3. 外付けストロボと内蔵ストロボのストロボの 充電完了を確認してから撮影してください。
  - \* 光量の比率は、内蔵ストロボが1に対して外付けスト ロボは2になります。
  - \* ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリー を組み合わせると、誤動作の原因となりますので、使 用しないでください。
  - \* 光量比制御シンクロ撮影では、シャッター速度の上限 は1/60秒になります。

#### 外付けストロボの多灯撮影

2個以上の外付けストロボを同時に使用する場合は、80 ページのストロボ機能一覧表の同じタイプどうしを組み 合わせるか、TYPE BとTYPE CあるいはTYPE Dと TYPE Eの組み合わせでお使いください。内蔵ストロボ は、どのタイプとでも組み合わせ可能です。

#### ストロボ機能一覧

カメラの機能	TYPE A	TYPE B	TYPE C	TYPE D	TYPE E
ストロボ充電完了で、ストロボの同調速度に自 動的に切り替わる。	0	0	0	0	0
オートピクチャーモード、ピクチャーモード、 シャッター優先自動露出では絞りが自動セット される。	0	0	0	〇注1	注1
ファインダー内でオートチェックができる		0	. 0		
TTLオートストロボ撮影ができる。	0	0	0	OtE2	
シャッター優先自動露出、マニュアル露出では 低速シンクロができる。	0	0	0	0	0
AFスポットビームが使える。	_	0	0		
後幕シンクロ撮影ができる。注3	注4	0	0		
光量比制御モードで撮影できる。注3		0			

TYPE A:内蔵ストロボ

TYPE B: AF500FTZ[注5]、AF330FTZ

TYPE C: AF400FTZ, AF240FT

TYPE D: AF400T, AF280T, AF200T, AF080C, AF140C, AF200SA

TYPE E : AF200S, AF160, AF140

注1: TYPE D[AF200S,を除く]のストロボで、MS [マニュアルシンクロ]、M[マニュアル]を使うと きやTYPE Eのストロポを使うときは、絞り優先 自動露出、マニュアルおよびバルブで撮影してく ださい。オートピクチャーモード、ピクチャーモー ドおよびシャッター優先自動露出では、絞りが変 化してしまいますので使えません。

注 2: AF200S。は不可。

注3:シャッター速度は1/60秒以下になります。

注4: TYPE BまたはCストロボと組み合わせて後幕シ ンクロ可能。

注5:マルチストロボ、スレーブ機能が働きます。

## (13) 日中シンクロについて



ストロボなし



ストロボ使用

昼間の明るいときでも、帽子などで人物の顔が陰になってしまうような場合に、ストロボを利用すると 陰の取れたきれいな写真が撮れます。

日中シンクロのやり方は、一般のストロボ撮影とまったく同じですから、そのままシャッターボタンを押すだけで簡単にできます。

- \* 背景が明るい場合には、露出オーバーになることが あります。
- \* オートピクチャーモード、ピクチャーモードで、内蔵ストロボの日中シンクロを行なう場合、ストロボ 自動発光モード[表示パネルに 4A が表示]を使用すると、ストロボが発光しないことがあります。39ページの方法で表示パネルの 4A 表示を消してから、日中シンクロ撮影を行なってください。

## (14) 低速シンクロについて



夕景などを背景に人物撮影をするとき、低速シンク ロを利用すると人物も背景もきれいに写せます。

#### マニュアル露出の場合

- 1. ストロポポタンを押して、ストロポを上げます。
- 2. マニュアル露出にします。
- 適正露出になるようにシャッター速度[1/100 砂以下の低速]と絞りを選んでください。
- 4. 撮影します。

応用的な使い方

\* マニュアル露出ては、「1、」の操作は撮影前のどの時点で行なっても結構です。

シャッター優先自動露出の場合

- 1. シャッター優先自動露出にします。
- 2. 好みのシャッター速度を選びます。
  - \* 表示パネルとファインダー内の絞り値表示が点滅していると背景が適正露出になりませんので、点滅がなくなるシャッター速度を設定してください。
- 3、ストロボボタンを押して、ストロボを上げます。
- 4. 撮影します。
  - \*「2.」の操作の前にストロボを上げると、背景が適 正露出になりませんので、シャッター速度を選んで からストロボを上げてください。
  - \* 低速シンクロ撮影では、シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐため、カメラを三脚などに固定してください。また、写される人が動いても、写真はぶれてしまいますのてご注意ください。
  - \* 低速シンクロは、外付けストロボでも同様に行なうことができます。

=

# 応用的な使い方

## (15) 専用アクセサリー[別売]について

このカメラには、各種専用アクセサリーが用意されています。詳しくは、各サービス窓口にお問い合わせください。

- ケーブルスイッチF
   MZ-10、MZ-3、MZ-5、Z-70₅、Z-5₅、Z-1₅、Z-5₀₂ および 645₃ 等に使えるレリーズコード。
- マグニファイヤーF<sub>\*</sub>ファインダー中央部を拡大して見るアクセサリー。
- オートストロボAF500FTZ ガイドナンバー50のAFスポットビーム内臓オートズームストロポ。スレーブ機能、マルチ発光、光量比制御モードや佐藤・後藤シンクロ撮影などが可能。
- オートストロボAF330FTZ ガイドナンバー33のAFスポットビーム内蔵オートズー ムストロボ。光景比制御モードや先幕・後幕シンクロ 撮影などが可能。
- ホットシューアダプターF。、延長コードF5P、オフカメラシューアダプターF AF500FTZ・AF240FT・AF330FTZ・AF400FTZ をカメラから離してストロボ撮影するときのアダプターとコード。[接続方法は77ページをご覧ください]
- AFアダプター1.7×
   F2.8より明るいオートフォーカス用でないレンズでオートフォーカス撮影するためのアダプター。

- マクロストロボAF140C ガイドナンバー14の接写用ストロボ。
- レフコンバーターA ファインダーを見る角度を90°間隔に変えることができるアクセサリー。倍率は1倍と2倍の切り替え式。
- フィルター スカイライト・墨天用・UV・Y2・O2・R2・円偏光 があります。フィルター径は49mm・52mm・58mm・ 67mm・77mmの5種類です。
- 単3バッテリーバックF。単3電池を使用するための別売りバッテリーパックです。

#### O.I

#### アクセサリーの注意

・「オートベローズA」を使用する際は、ダブルレリー ズが使用できませんので、「ケーブルスイッチF」を お使いください。

戦位置での撮影は、カメラのグリップ側を下にすると オートベローズAへの取り付けができませんので、グ リップ側を上にしてください。

ただし、この場合にはケーブルスイッチFが使用できなくなりますので、横位置での撮影をお勧めします。

- 「645レンズ用アダプターK」をボディーに着脱する際、 アダプターの固定ネジの位置によってはボディーに当 たる場合がありますのでご注意ください。当たる場合 は、固定ネジの位置を変えてから行ってください。
- レフコンバーターA取り付け時、カメラの裏ぶた開閉を行うと、レフコンバーターAと接触します。裏ぶた開閉時は、レフコンバーターAを外してください。

- 接写リングなど、絞りの連動がきかないアクセサリーを使用した場合、旧タイプのストロボで、絞りが A 位置で使えないものの場合は、絞りを A 位置から外 してご使用ください。
- ・オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。また、露出の精度も低下しますので、円偏光フィルターの使用をお勧めします。

MEMO				
 	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~			

## (17) 絞りとシャッター速度の効果



高速シャッタ



低速シャッター

写したい物[被写体]の適正露出を決めることは、シャッ ター速度と絞り値の組み合わせを決めることです。とこ ろが、写したい物が同じ明るさであってもシャッター速 度と絞り値の組み合わせはいくつもあり、この組み合わ せを選ぶことにより写真の効果を変えることができます。

#### シャッター速度の効果

シャッター速度は、光がフィルムに当たっている時間を 長くしたり、短くしたりしてフィルムに当たる光の量を 調節しています。

シャッター速度が遅ければ、シャッターの開いている時 間が長くなるため、もし、このとき写したい物が動いて いれば、当然写したい物がぶれてしまいます。逆にシャッ ター速度を速くすると、動きのある物でも動きを止めて 写すことができます。また、写したい物が動いていなく てもシャッター速度を速くすると、シャッターを切ると きにカメラが動いてしまうカメラぶれを防ぐ効果もあり ます。また、川や滝、波などを低速のシャッター速度で 写すと動感のある写真になります。



小校り側



開放絞り側

#### 絞りの効果

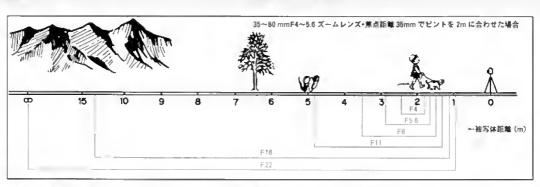
絞りは、レンズを光が通るときの光東[光の太さ]を大きくしたり、狭くしたりしてフィルムに当たる光の量を調節しています。

絞りを開いて光束を広くすると、ピントを合わせた物に対してその前後の物のボケが大きくなります。 つまり、ピントの合う範囲[被写界深度]が狭くなります。 逆に、絞りを絞って光束を狭くすると、ピントの合う範囲が広くなります。

例えば、風景の中で人物を撮影するときに、絞りを開い て撮影すると、ピントを合わせた人物の前後の風景のボ ケが大きくなるため、人物だけが浮かび上がる効果があ ります。

逆に、絞りを絞ると前後の風景にまでピントを合わせる ことができます。

## (18) 被写界深度



写したい物のある部分にピントを合わせると、その前後にもピントの合う範囲があります。この範囲を被写界深度といいます。

被写界深度[ピントの合う範囲]は、図のように絞りを絞 り込むほど深くなりますが、この他にも広角レンズほど、 また、写したい物が遠くなるほど被写界深度は深くなり ます。

#### ピントの合う範囲

上図は、 $35\sim80$ mmF4 $\sim5.6$ のズームレンズで焦点距離を35mmに、ピントを2mに合わせた場合のピントの合う範囲です。

絞りを変えることによってピントの合う範囲[奥行]が変わります。

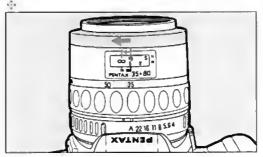
ズームレンズには機構上被写界深度目盛りは付いていま せん。

## (19) 赤外線指標について



赤外線フィルムと「R2」や「O2」フィルターを使 用して赤外線写真を撮影するときは、一般撮影[可 視光線]とピント位置が異なってくるため、ピント の補正が必要になります。

- 1、通常のフィルムと同様にピント合わせを行な います。
- 2. フォーカスモードレバーを MF にし、距離 リングを赤外線指標の分だけ左に回して補正 します。



- ・図のように、焦点距離目盛りが35のときは、 距離目盛りを35の赤外線指標[赤線]まですら します。
- \* オートフォーカスでは赤外線写真のピント補正ができ
- \* 赤外線写真を撮影するときの露出は、フィルムの説明 書を参考にしてください。自動露出では適正露出が得 られませんから、マニュアル露出で撮影します。

# Ⅳその他について

## こんなときは?

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症 状	原因	処 置	参照ベージ
	電源がOFFになっている。	電源をONにしてください。	20 ページ
シャッターが切れない。	バッテリー警告 ← が点滅している。	電池を交換してください。	14 ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	14 ページ
	モードダイヤルが ISO SET 位置になっている。	モードダイヤルを ISO SET 以外の位置 にしてください。	73 ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	44 ページ
	内蔵ストロボが充電中である。	充電されるまで待ってください。	38 ベージ
表示パネルに表示が出ない。	電源がOFFになっている	電額をONにしてください。	20 ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	14 ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	14 ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	14 ページ
ピントが合わない。	ビントを合わせたい物[被写体]にAFフレーム [ ] が合ていない。	写したい物をAFフレーム □ □ に入 れて撮影してください。	35 ページ
	写したい物に近づきすぎている。	写したい物から離れてください。	35 ページ
	フォーカスモードレバーが MF になっている。	フォーカスモードレバーを AF にして ください。	34 ページ
	オートフォーカスの苦手な物	マット部分でのピント合わせをしてください。	48 ページ



症 状	原因	処 宣	参照ページ
ファインダー内の 〇 が点滅する。	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な物などのためピント合わせができない。	マット部分でのピント合わせをご利用ください。	48 ベージ
内蔵ストロボが充電しない。	バッテリー警告 ← が点滅している。	電池を交換してください。	14 ページ
パワーズームが動かない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前側に出して POWER ZOOM にする。	32 ページ
	バッテリー警告 ⊂■ が点滅している。	電池を交換してください。	14 ページ
ズーミングをするとピント合わ せをしてしまう。	バワーズームでズーミングをすると自動 的にピント合わせをします。		

静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしなくなることがあります。このような場合には、一旦電池を入 れ直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場合には、電池を入れ直してから電源をONにし、シャッ ターボタンを押し込んだまま電源をOFFにすると、ミラーが下がります。これらを行ないカメラが正常に作動すれば故 障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

## 主な仕様

TTLストロボ内蔵 TTL AE・AF35mmー眼レフカメラ

画面サイズ 使用フィルム 24×36mm[パノラマ撮影時は13×36mm]

露出モード

35mmフィルム[J135パトローネ入り] 35mmDXフィルム=1SO25~5000、手動セットはISO6~6400 オートピクチャーモード、ピクチャーモード[標準モード、人物モード、風景モード、近接モード、動体モー

ド]、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、マニュアル露出、バルブ

シャッター

電子制御式級走りフォーカルプレーンシャッター、オートシャッターニ1/2000秒~30秒[無段階]、マニュア

ルシャッター= 1/2000秒~30秒、パルブ、電磁レリーズ、電源OFFでシャッターロック ベンタックスバヨネットKxxマウント[AFカプラー、レンズ情報接点付Kマウント]

レンズマウント 使用レンズ

KAPK KAFマウントレンズ KAKマウントレンズ[AFアダプター使用でAF可能]

オートフォーカス機構

TTL位相差検出式3点測距 (SAFOXIV)、オートフォーカス作動輝度範囲Ev-1~18[ISO100]、フォーカスロッ

ク可能、フォーカスモード= AF [動体予測可]/ MF

パワーズーム

FAズームレンズとの組み合わせにより3速パワーズームが使用可能[一部レシズを除く]

ファインダー

ペンタミラーファインダー、ナチュラルブライトマットフォーカシングスクリーン、視野率92%、倍率0.77倍

[50mm・∞]、視度=−1m<sup>-1</sup>[毎メートル]、AFフレーム、パノラマ視野枠

ファインダー内表示

フォーカス表示[FI=フォーカスインジケーション] 〇 合焦マーク=点灯 合焦不能マーク=点滅、シャッ

ター速度表示、絞り表示、 ち =ストロボ情報、パーグラフ=露出補正値 マニュアル露出時のオーバー・

アンダー表示、 🛂 =露出補正、 🖭 =標準モード、 🖺 =人物モード、 🔼 =風景モード、 □ =近接モード、 🔨 =動体モード

LCDパネル表示

M =マニュアル露出、 👺 =標準モード、 👪 =人物モード、 👪 =風景モード、 🐷 =近接 モード、 📉 =動体モード、シャッター速度、絞り値、 💲 =内蔵ストロボ充準完了 🕏 遅い点滅=

ストロポお勧め 💲 速い点滅=不適切レンズ警告、 👁 =赤目軽減機能、 🗚 =ストロボ自動発光、 フィルム感度、ISO、 💁 💶 ニバトローネ・フィルム走行・巻き取り、 🖙 =電池消耗、フィルム枚数、

•咿 =電子音、 🔁 =露出補正、露出補正値



セルフタイマー

電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒[電子音]、作動後解除可能

ミラー

シンクロ

クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付

オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付 フィルム入れ 巻き上げ・巻き戻し 内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、1コマ撮影・連続撮影[約2コマ/秒]、フィルム終了時自動

巻き戻し、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示、途中巻き戻しボタンによる途中巻き戻し可能

TTL開放分割測光 (6分割)、測光範囲 50mm F1.4 ISO100 EV0~21

舞出計・測光範囲

±3EV[0.5EVごと設定可能]

露出補正 ストロボ

直列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー11[tSO100/m]28mmレンズをカバー、同間速度1/100秒以下、

日中シンクロ 低速シンクロ 光量比制御可能 ISO連動範囲=25~800、自動発光可能、赤目軽減機能

ホットシュー[X接点専用ストロボ接点付き] 専用ストロボ連動 ISO連動範囲=25~800

雷源 3Vリチウム電池 CR2 2個

バッテリーマーク 🖼 点灯[点滅時シャッターロック、ファインダー内表示は消灯] 電池消耗警告

事ぶた 交換可能

135mm[幅]×90.5mm[高]×62.5mm[厚] 365g[ボディーのみ 電池別] 大きさ・質量[重さ]

付属品 ホットシューカバーFc、レリーズソケットキャップF、カメラストラップFc、アイカップFi、ファインダーキャッ

テータバ、ク仕様

機構

薄麵

クォーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー[画料2019年まで、閏年は自動修正]、パノラ

マ時写し込み可能

写し込み方法

7セグメント 6桁LCD、フィルム背面より写し込み

表示

データ表示窓にLCD表示、表示写し込み時 - が2~3秒間点減

①年・月・日、②日・時・分、③ -- -- [データ写し込み無し]、①月・日・年、⑤日・月・年

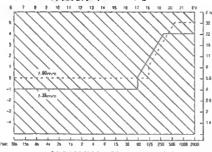
使用フィルム感度 ISO25~1600[感度自動セット] 電源

CR2025 [リチウム電池]

発光回数

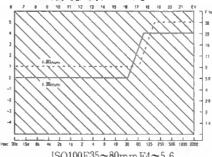
約5000回

## プログラム線図[標準モード]



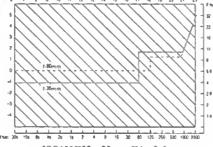
ISO100F35~80mmF4~5.6

## プログラム線図[風景モード]



ISO100F35~80mmF4~5,6

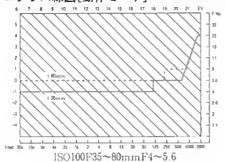




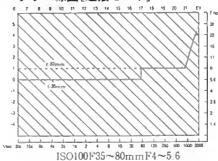
ISO100F35~80mmF4~5.6



#### プログラム線図[動体モード]



#### プログラム線図[近接モード]



## お問い合わせは次の各サービス窓口へ



ベンタックスフォーラム (ショールー/シ宮昌等(修改受付) m03(3348)2941(t) ₹163-0401 東京都新宿芝西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階

(弘書稿240号)



仙台サービスセンター ☎022(371)6663€0 **T981-3133** 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階



#### 東京サービスセンター ☎03(3571)5621ft;

₹104-0061 東京都中央区銀牌曲8-10 土場や至点を書並び



#### 新潟サービスセンター

☎025(224)8391#5 〒951-8067 新,乌市本町通7番町1153 新海本町連ビル4階



## 札幌サービスセンター

#011:512)3231%L ₹060-0010 礼閥市中央区 北10美面18-36 ベンタックスも線ビル4階



#### 横浜サービスセンター

m045(232)528110 〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-7-10

日本生命関内ビル8階

■営業時間:●ベンタックスフォーラム 午前10約30分~午後6時30分

各サービスセンター、お客様相談室

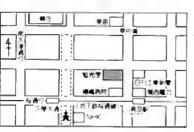
午前9特~午後5時(土、日、祝日休集)





#### 広島サービスセンター

- #082(234)5681fb ₹733-0035
- 広島市西区南観音3-5-2 空港通りビル6階



名古屋サービスセンター ☎052 (962) 5331 Ht.

₹461-0001

名古屋市東区県1-19-8



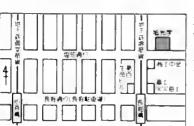
福岡サービスセンター

☎0927281:6868#t

₹810-0602

福岡市博多区中州中島町3-8

パ ルビル1階



大阪サービスセンター

☎06(627\*)7996Ht ₹542-0081

大阪市中央区南船場1-17-9 バールビル2階

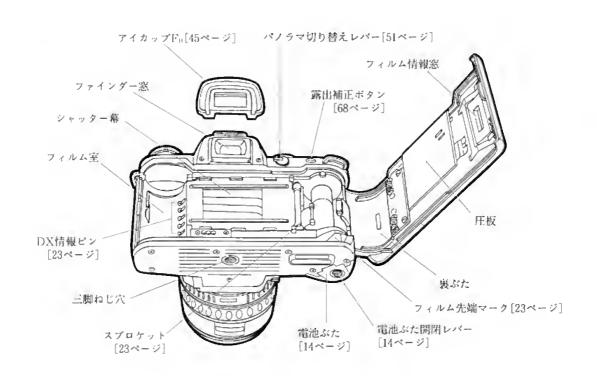


## お客様相談室

n03(3572)6479 〒104-0061 東京都中央区銀座西8 10

(土橋交差点交易並び)

# 各部の名称②



## アフターサービスについて

- ・ 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
- ・他社製品[レンズ・アクセサリー等]との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
- 1、本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1 年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用 説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓 口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、 当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理 品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送 中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送り ください。不良見本のフィルムやブリント、また 故障内容の正確なメモを添付していただけると原 因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店 印および購入年月日が記入されているもの]を ご提示ください。保証書がないと保証期間中でも 修理が有料になります。なお、販売店または当社 サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様に ご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸 掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご 負担いただく場合があります。

- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象には なりません。
  - ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等) により生じた故障。
  - ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
  - 大災・天災・地変等による故障。
  - ・保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等)や手入れの不備(泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等)による故障。
  - 保証書の添付のない場合。
  - ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
- 4、保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間中のみ有効]



旭光学工業株式会社 〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

#### ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブで す。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料 金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局まで。

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

三宅坂ヒル3階 四03 (3580) 0336

会この使用説明書には再生紙を使用しています。